

はじめに

メンバーを入れ替えなくてもプロジェクトは成功します！ 6

第1章 メンバーマネジメント

メンバーの力を最大限に引き出す六つのセオリー 13

セオリー 1 メンバーマネジメントは先手必勝 17

セオリー 2 メンバーが自身のタスク（役割）にオーナーシップを持つ 24

セオリー 3 メンバーに対峙する際は「役割行動」を徹底する 32

セオリー 4 「マネジメントがある」という信頼を醸成する 35

セオリー 5 既存メンバーが新メンバーを即戦力にする 38

セオリー 6 自ら楽しく取り組み、遊び心を持つ 41

第2章 パートナーマネジメント

パートナーとWin-Winの関係を築く六つのセオリー 43

セオリー 1 「成功責任はIT部門にある」と認識する 44

セオリー 2 パートナーはマッチングで選定する 46

セオリー 3 最初にパートナーへの「期待値」を設定する 53

セオリー 4 Win-Winを目指し、対等の関係で最大限の力を引き出す 56

セオリー 5 きちんとパートナーを評価して次につなげる 63

セオリー 6 「パートナー資本」を増大させるのはIT部門のミッション 65

第3章 ユーザーマネジメント

自然な形でユーザーの主体性を引き出す五つのセオリー	71
セオリー 1 システムオーナーとMyシステム担当を明確にする	72
セオリー 2 ユーザー体制は組織に根ざしてつくる	77
セオリー 3 ユーザーには本業務があることを前提に取り組む	85
セオリー 4 ユーザー部門のパワーを確保する	89
セオリー 5 「ユーザーのプロ」になってもらう	91

第4章 情報・コミュニケーションマネジメント

円滑な情報共有とコミュニケーションを実現する六つのセオリー	99
セオリー 1 ピラミッド型で意思決定をする	101
セオリー 2 席にいながら必要な情報を入手できるようにする	110
セオリー 3 誰がどの情報を得ているか、全員がわかっている状態にする	112
セオリー 4 常識＝ルールはつくるものだと考える	115
セオリー 5 コミュニケーションの可視化と情報の鮮度を保ち続ける	125
セオリー 6 ルールを徹底的に浸透させる仕組み・環境をつくる	128

第5章 課題マネジメント

課題の解決漏れや対策遅れ、積み残しを防ぐための五つのセオリー	131
セオリー 1 課題は早く見つけて管理に早くのせる	133
セオリー 2 課題の8割はメンバーがおのずと解決できる仕掛けにする	136
セオリー 3 揺り戻しが無い「確実な解決」をさせる	142
セオリー 4 課題の議論は上手なファシリテーションでコントロールする	149
セオリー 5 課題は可視化しながら管理する	152

第6章 アウトプットマネジメント

アウトプットの品質を上げてプロジェクトの成功確率を高める五つのセオリー 155

セオリー 1 ドキュメントを重視して記録化を徹底し、かつ効率化を目指す 157

セオリー 2 読み手の生産性向上を意識してドキュメントを作成する 163

セオリー 3 作り手と読み手に無駄を出さないドキュメントマネジメント 172

セオリー 4 タスクを組み立てて良いドキュメントを生み出す 174

セオリー 5 マネジメントがアウトプットにコミットする 179

第7章 リスクマネジメント

プロジェクトの不測の事態に備え回避する四つのセオリー 185

セオリー 1 リスク対策必勝法は「初めに“備え”を仕込む！」 188

セオリー 2 リスクへの対処はタイムリーに判断して実行する 193

セオリー 3 リスクへの対処はゴールを変えずにアプローチを工夫する 198

セオリー 4 リスク管理表はセルフマネジメントと組織支援を獲得するツールと捉える ... 202

おわりに 206